

5月10日（水）

救急法講習（5年生）

日本赤十字山口県支部の方2名を講師にお招きし、講習会を開催しました。5年生の児童が、胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方を教えていただきました。



はじめに、講義形式で学習しました。AEDの正式名称は、「自動体外式除細動器」と教えていただきました。また、学校のどこにAEDが設置しているか確認しました。

次にAEDの使い方や胸骨圧迫の方法を実演していただきました。AEDの電源を入れると本体から指示があるので、その通りに対応すればよいことが分かりました。また胸骨圧迫は1分間に100～120回ぐらいの速さで実施することも教えていただきました。



最後に子どもたち一人一人が、訓練用AEDと、模擬人体を使って練習しました。最初はなかなかうまくできませんでしたが、友達の実演を見ているうちに上手にできるようになりました。



6月から始まる水泳指導に備えて、放課後には教職員も研修しました。

AEDを使う場面がないことが一番ですが、実際に事故が起こったときには、今回教わったことを生かして、子どもたちの大切な命を守りたいと思います。

